

私立大学研究ブランディング事業 ストック・シェアリング成果報告シンポジウム開催 防災食「あつた鶏飯(けいはん)」試作品が登場

学校法人名古屋学院大学(名古屋市熱田区熱田西町、学長：赤楚治之)では、3月4日(土)に「ストック・シェアリング成果報告シンポジウム」を名古屋キャンパスたいほうコミュニティリンクにて開催します。入場無料、事前申込が必要です。

名古屋学院大学は、「ストック・シェアリングを通じた地域価値の編集による新世代型コミュニティの実現に向けた多層的研究」が文部科学省2018年度私立大学研究ブランディング事業に選定され、キャンパスがある名古屋市熱田区を研究の場として、地域に存在する有形・無形の資産(ストック)の価値を再発見し、その共有と活用を通じて地域活性化を目指す事業を行っています。シンポジウムでは、これまでの成果報告と、ゲストを招いたパネルディスカッションを実施します。

報告会の研究成果報告3件のうち「編集対象の地域ストック資源の評価と防災士資格講座開催(杉浦礼子商学部教授、佐藤律久経済学部准教授)」と関連して、4月に販売予定の防災食「あつた鶏飯(けいはん)」試作品が登場します(別紙に写真を掲載)。

「あつた鶏飯」は防災食の缶詰商品で、商学部杉浦礼子ゼミ3年生が株式会社あいち食研(名古屋市西区)と協働し、開発したものです。ゼミ生14名は日本防災士機構の防災士取得を目指して学び、試験を受け資格を取得しました。講座で学んだ知識を開発プロセスに活かしました。

「江戸時代に熱田宮宿で提供されていた当時のご当地グルメ『けいはん』をアレンジし、令和時代の防災食としたい」との思いから、株式会社あいち食研に協力を依頼して商品化が実現しました。「あつた鶏飯」は熱田区が取り組んでいる「熱田ブランド」のコンセプトにも合致していることから、熱田ブランドロゴを商品ラベルに取り込んでいます。

実践成果報告2件のうち「熱田巡回バスのデザインと市営住宅の再生“mochiyori”」では、現代社会学部4年の神田実紅さんが登壇します。神田さんはボラセンCWクラブの主要メンバーとして、名古屋市営住宅神戸荘(ごうどそう)の空き住戸を活用し、学生による団地コミュニティ活性化の取り組みの場所である「みんなの縁側“mochiyori”」オープンに携わりました。

〈ストック・シェアリング成果報告シンポジウム〉開催概要

- ◆日時 : 2023年3月4日(土) 14:00~16:40 (開場 13:30)
- ◆場所 : 名古屋学院大学名古屋キャンパスたいほう言館 1F コミュニティリンク
名古屋市熱田区大宝二丁目4番45号
- ◆定員 : 定員60名 ※入場無料・要事前申込
- ◆申込方法 : 以下、受講申込フォームよりお申し込みください。
<https://req.qubo.jp/ngu/form/vDwMs4oz>
- ◆問合せ先 : 名古屋学院大学 社会連携センター
【e-mail】 renkei@ngu.ac.jp
- ◆内容 : 別紙をご参照ください。
【報告会】研究成果報告3件／実践成果報告2件／成果総括報告
【パネルディスカッション】
テーマ：ストック・シェアリングによる新世代型コミュニティ形成と大学の役割

【報告会】

■研究成果報告

- ①コミュニティに対応する商店街の探索的研究 (濱満久 商学部教授)
- ②編集対象の地域ストック資源の評価と防災士資格講座開催
(杉浦礼子 商学部教授、佐藤律久 経済学部准教授)
- ③空き家の外部不経済とその有効活用に向けて (上山仁恵 経済学部教授)

■実践成果報告

- ①“地域のチカラ”を引き出す3つのアプローチ (山下匡将 現代社会学部准教授)
- ②熱田巡回バスのデザインと市営住宅の再生“mochiyori” (神田実紅 現代社会学部4年)

■成果総括報告

ストック・シェアリングを通じた地域価値の編集の展望 (井澤知且 現代社会学部教授)

【パネルディスカッション】

～ストック・シェアリングによる新世代型コミュニティ形成と大学の役割～

■コーディネーター：

井澤 知且 (名古屋学院大学 現代社会学部 教授)

■パネリスト：

- 中田 俊夫 氏 (熱田区区政協力委員協議会議長)
- 加藤 里香 氏 (熱田区長)
- 金森 文美 氏 (イオンモール熱田オペレーションマネージャー)
- 中谷 務 氏 (名古屋国際会議場館長)
- 田中 良知 氏 (金山駅前まちそだて会会長・あつた宮宿会副会長)
- 伊沢 俊泰 氏 (名古屋学院大学副学長・社会連携センター長)

〈 あつた鶏飯(けいはん)について 〉



あつた鶏飯は、「江戸時代に宮宿で提供されていた当時のご当地グルメ『けいはん』を令和時代の防災食としたい」との思いから、名古屋学院大学商学部杉浦ゼミ3年生が株式会社あいち食研に協力を依頼し商品化が実現しました。また、本商品は、熱田区役所が取り組んでいる「熱田ブランド」のコンセプトに一致していることから、熱田ブランドロゴを商品ラベルに取り込んでいます。2023年4月に販売開始予定です(販売予定価格500円・税込/あいち食研ECサイト、イベントなどで販売予定)。

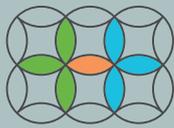
【江戸時代の歴史・食文化「あつた鶏飯」を生かした令和の防災食】

熱田区民が地域課題として災害を懸念している比率が高いことから、杉浦ゼミ学生全員が日本防災士機構の防災士取得を目指して学び、試験を受け資格を取得、講座で学んだ知識を開発プロセスに生かしました。

【体にも環境にも優しい防災食】

食材は愛知県内の生産者がこだわりをもって育てたにもかかわらず生産過程で廃棄する食材を利用するなど、環境にも配慮した商品としました。また、本来、江戸時代の「けいはん」には鶏肉が入っていなかったため、大豆ミートを調理して鶏肉の代用として使用しています。鶏肉を使用することに比べ温室効果ガスの排出を抑えることにも寄与しています。

防災食は、高脂質・高塩分な食事に偏りがちで、糖尿病のある人をはじめ、一般的に提供される防災食を口にすることができない被災者もいることからお米の一部を「こんにゃく米」に置き換えることで糖質を抑え、脂質・塩分を控えた商品としました。



STOCK SHARING
地域の価値を編集する大学

名古屋学院大学 私立大学研究ブランディング事業

ストック・シェアリング成果報告シンポジウム

ストック・シェアリングを通じた地域価値の編集による新世代型コミュニティの実現に向けた多層的研究



日本の諸課題は地域に集約され、地域で顕在化する。本事業は福祉・都市・経済を地域で融合し、また各種ストック(空間・時間・人間等)をシェアリングすることで、地域の課題解決と新価値の創出を図る。公共的、歴史的、人的な資源が豊富な名古屋市熱田区(本学所在)を研究ゾーンに位置づけ、地域関係者との協働研究により、新世代型コミュニティ像を明らかにし、地域価値を編集できる力をもった大学としてのブランドを確立する。

**シェアリングとは。
ストック・シェアリングとは。**

シェアリングとは直訳すると「分かち合うこと」。例えばカーシェアリングという「メンバーで自動車を共同使用すること」となります。よって、ストック・シェアリングとは蓄積(ストック)された空間、時間、人材を皆で分かち合いながら活用して(シェアリング)、暮らしを良くする活動ということになります。

2023
3.4 土

時間 | 14:00~16:40(開場/13:30)

会場 | 名古屋学院大学名古屋キャンパスたいほう
言館1Fコミュニティリンク

定員 | 60名(入場無料・要事前申込)

PROGRAM プログラム

■開会挨拶: 赤楚治之 学長

■報告会

【研究成果報告】

- ①コミュニティに対応する商店街の探索的研究
(濱満久 商学部教授)
- ②編集対象の地域ストック資源の評価と防災士資格講座開催
(杉浦礼子 商学部教授、佐藤律久 経済学部准教授)
- ③空き家の外部不経済とその有効活用に向けて
(上山仁恵 経済学部教授)

【実践成果報告】

- ①“地域のチカラ”を引き出す3つのアプローチ
(山下匡将 現代社会学部准教授)
- ②熱田巡回バスのデザインと市営住宅の再生“mochiyori”
(神田実紅 現代社会学部4年)

【成果総括報告】

ストック・シェアリングを通じた地域価値の編集の展望
(井澤知且 現代社会学部教授)

■パネルディスカッション

～ストック・シェアリングによる新世代型コミュニティ形成と大学の役割～

- ◆中田俊夫氏 熱田区区政協力委員協議会議長
- ◆加藤里香氏 熱田区长
- ◆金森文美氏 イオンモール熱田オペレーションマネージャー
- ◆中谷 務氏 名古屋国際会議場館長
- ◆田中良知氏 金山駅前まちそだて会会長・あつた宮宿会副会長
- ◆伊沢俊泰 副学長・社会連携センター長
コーディネーター 井澤知且 現代社会学部教授

■閉会挨拶: 社会連携センター課長

お申し込み方法

インターネット

受講申込フォームよりお申し込みください。

<https://req.qubo.jp/ngu/form/vDwMs4oz>



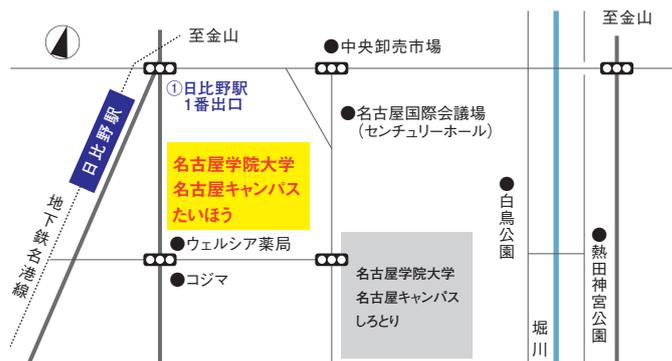
※いただいた個人情報は本シンポジウム関係事務にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

NGU 名古屋学院大学

お問い合わせ先

名古屋学院大学 社会連携センター

TEL: 052-678-4085 <https://www.ngu.jp/and-n/> E-mail: renkei@ngu.ac.jp



名古屋学院大学名古屋キャンパスたいほう 名古屋市熱田区大宝二丁目4番45号

交通のご案内 地下鉄「名港線」日比野駅1番出口から徒歩8分

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。